

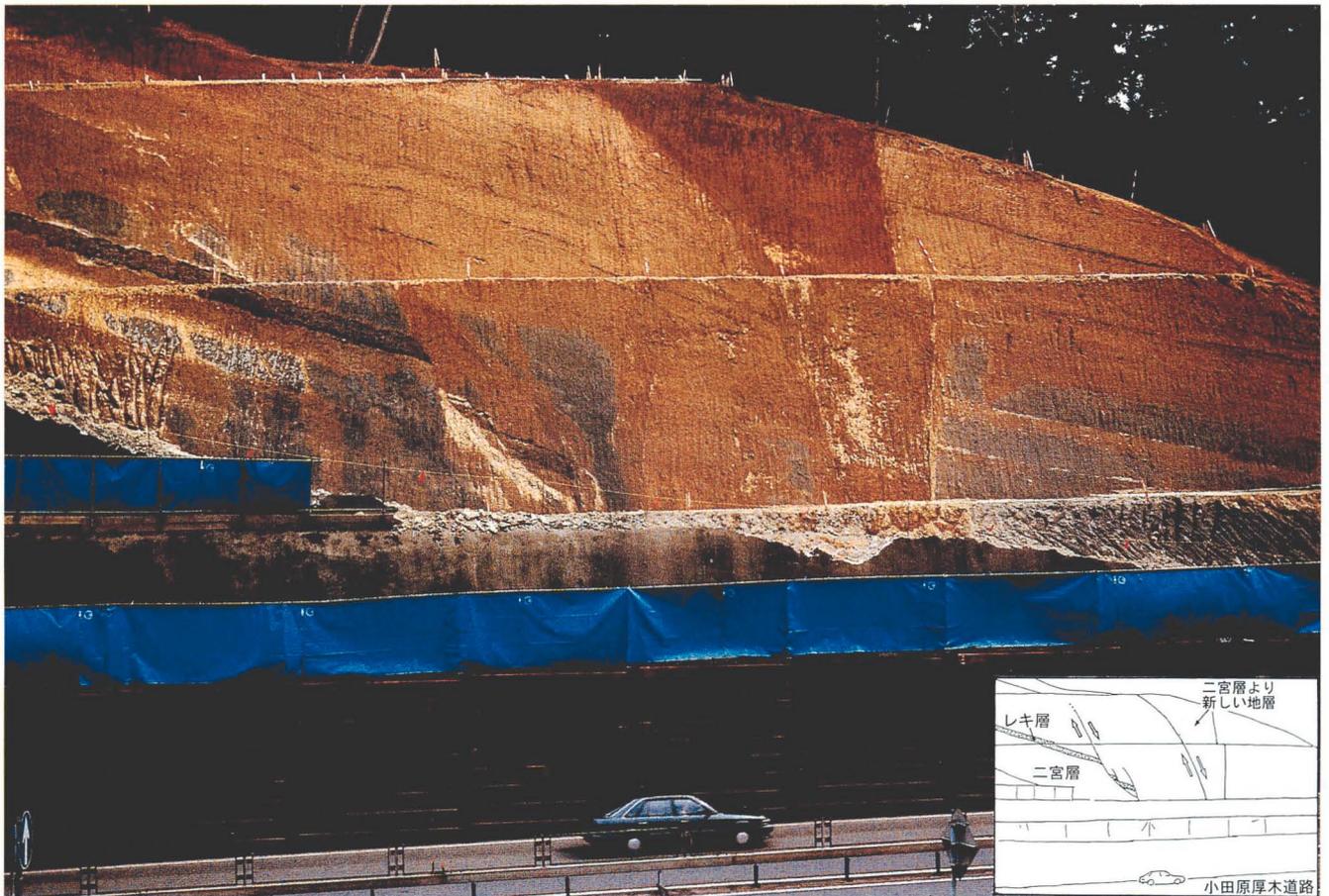
自然科学のとびら

Newsletter of the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

Vol. 4, No. 3

神奈川県立 生命の星・地球博物館

Sept., 1998



二宮層とそれを切る断層

中郡大磯町虫窪

田口公則撮影 (1998年6月)

田口公則 (学芸員)

大磯丘陵には、その西縁にある国府津・松田断層のほかにも多くの断層が分布しています。活動的なプレート境界の近くにあるために隆起・変動の著しい丘陵です。

大磯丘陵の虫窪は、古くから化石の産地として知られていましたが、昨年、小田原厚木道路の工事に伴いその有名な露頭はなくなってしまいました。そのかわりに二宮層とよばれる46万年前の地層が工事によってきれいに露出しました。私たちのグループでは、そ

の化石と地層の調査を行っています。最近みごとな断層が露出しました(写真)。ほぼ南北方向の断層で、西側(写真右側)がずれ落ちています。垂直にずれているだけでなく、水平方向にもずれているようです。断層が落ち込んだくさび型の部分の上には、二宮層よりずっと新しい地層(赤茶色の部分)が見られますので、地質学的にかなり最近といえる数万年前にこの断層が活動したようです。大磯丘陵が活動的な場所といえる証拠の一つです。